

株式会社HIYAKU-SHA



代表取締役
永野 健太 氏

●企業の概要

企業名：株式会社HIYAKU-SHA
代表者：代表取締役 永野 健太
住所：宮城県仙台市太白区長町3丁目3-9
設立年：2023年
業種：飲食業およびシニア人材活用事業
資本金：2百万円
従業員数：4名

※当社は2023年12月に、株式会社ジーバーに社名を変更しました。

●事業の概要

当社は、シニア人材を活用して弁当を製造し、オフィス街へ配達する「ジーバーFOOD」を運営。地元（地場）のジーちゃん、バーちゃん(ジーバー)の活躍する場を提供し、食を通じてオフィス街で働く現役世代に美味しい健康を届ける。厨房スタッフは平均年齢70歳のシニア人材であり、シニアの雇用を創出するとともに、シニアだからこそ知っている郷土料理や地元食材を活用する。



ジーバースタッフ達

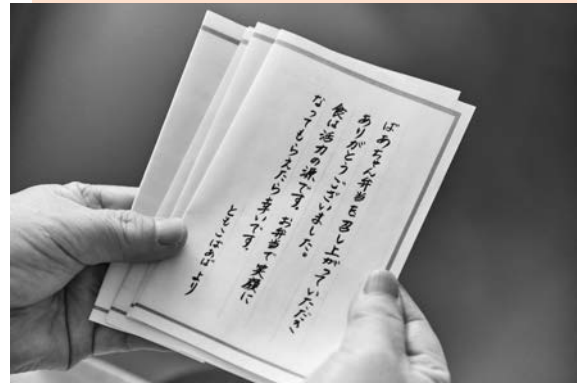


手作りのお弁当（一例）

地元のシニア世代が「食」を通じて多世代に美味しい健康を届ける「ジーバーFOOD」を展開、シニアの活躍の場を提供し地域社会の活性化に貢献する



販売中の様子



お弁当に添える手書きのお手紙



調理中の厨房の様子

● 受賞の理由

2025年、日本は団塊の世代が75才以上の後期高齢者となり、国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢社会に突入すると言われている。この2025年問題では、介護や医療など社会保障費が増大するなどの懸念がある中で、まず直面するのが少子高齢化による「労働力の減少」であり、シニア人材の活用が必要なものとなっている。

また、一方、現在働いている現役世代（20～39歳）については、約70%の人が栄養バランスの悪い食生活を送っているという調査報告もあり、従業員の食生活の改善による健康維持は、企業の健康経営の面からも重要である。

当社は、地域に住むシニア世代の「もっと働きたい」、「社会の役に立ちたい」という声を拾い、地域のためにできることは何か、そして働く現役世代の「不健康な食生活」という課題の解決の一助として「ジーバーFOOD」を開始。「世界が羨む高齢社会をつくる」をビジョンに掲げ、地元のシニア世代が「食」を通じて働く現役世代に美味しい健康を届けることで地域全体が元気になっていくことを目標としている。高齢社会においては、シニア世代が活躍できる場、雇用を創出する取組みが重要であり、本事業はその課題解決に貢献できるものと考えられる。

また、当社は昼の弁当事業だけでなく、朝食としての提供やイートインスペースの設置、夜には地域住民が集まれる飲食店の展開と多角的な事業展開を図っており、更なる雇用の創出や食による健康の提供、地域コミュニティの維持などにつながるものと期待される。

今後、日本が迎える超高齢化社会にとって、「ジーバーFOOD」はソーシャルビジネスのモデル事業として地域の活性化に大きく貢献するものと期待される。